



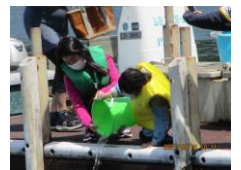
す ま い る

新緑がきれいな季節になりました。この箱根地域は、箱根全山の中でも冬の厳しい地域なので、春の到来は本当にうれしいことでもあります。GWもコロナ禍の中、行動制限が求められ思うように行動できなかった方も多かったのではないのでしょうか？それでも、今年の5月は自粛中で、園内から子ども達の声が消えていたので、連休明けに「おはようございます！」と元気な子どもの声が聞こえたことに、幸せを感じました。

箱根町も9日から高齢者の方の新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が始まります。ワクチン接種が少しずつ進み安全に過ごせる日が早く来ることを願うばかりです。変異型は、子どもの罹患率が高いようです。気を緩めず見えない敵と戦いながら、それでも、心穏やかに子ども達の笑顔があふれる園運営を心掛けていきたいと思えます。保護者の方も心配なこと等ありましたら、いつでもご相談ください。

「ようこそ、畑の先生！！」

ジャガイモ植えは、本来は2月頃植えるのでしょうか？箱根幼稚園では凍っていた土が解け、新入園児を迎えてから4月に行くことが多いです。今年は、サツマイモ収穫でお世話になっています、地域ボランティアの杉山さんがお友達を連れ、ジャガイモの植え方を教えてくださいました。種芋の植え方、肥料の与え方など丁寧に教えてください、畑の先生と一緒に「マルチシート」をかぶせて出来上がりです。「1週間くらいで芽が出てくるから、そうしたらそこに穴を開け、芽を出してあげるんだよ。」「じゃがいもはあまり水をあげてはだめだよ。」と教えていただきました。毎日畑へ足を運び、芽が出てきたらビニールに穴を開け、葉の伸びる様子を楽しみにしている子ども達です。収穫したら「カレーにしようね。前も食べておいしかったんだよ。」と年長児が年下児に声を掛けていました。今年は、長雨が続きませんように…。夏休み前の収穫をまた畑の先生と楽しみたいと思っています。



「1年生との再会～ヒメマス放流～」

5/10 いつもの8番ボートの所に嬉しいお客様がみえました。箱根の森小学校の1年生と6年生がヒメマスの放流に来たのです。年中・長児は、3月まで一緒に過ごした1年生に会えることを朝から楽しみにし、少し離れてはいましたが、お互い見つけると大きく手を振り合い、久しぶりの再会に大喜びでした。小学生になった卒園児は、在園児の前に少し誇らしげな表情を浮かべ、年長児は立花校長先生に、自己紹介をし「よろしくお願ひします。」の言葉を添えて挨拶をしました。1年生の姿に来年の自分の姿を重ね、小学校に対して憧れの気持ちを持ったようです。いつも気軽に子ども達に話しかけてくださる先生方や児童の皆さんの温かな気持ちが、子ども達にとっての安心感につながります。少しの時間を見つけて、校長先生とは、児童の情報を伺いました。小さな機会を捉え、これからも情報を交換したり、子ども達が交流する場を作ったりし、就学につなげていきたいと思えます。園小連携の一場面になりました。

子どものつぶやき

園庭では子ども達がそれぞれの遊びを楽しんでいた時。Aちゃんが、水筒を取りに来て「あ～喉乾いた！」とごくごく飲みほし「美味しい！みんなの分も持って行ってあげよう」そう言って友達の水筒を抱え友達のそばへと走っていきました。友達もきっと喉が渇いているだろう。友達のことを思い、行動できる姿に心の育ちを感じました。

☆これから、暑さが増してきます。5月の日差しは意外と強く、日によっては、寒暖差もあり子ども達の体調も崩れやすくなります。また、マスクの着用が必要な場面が続き熱がこもりやすく熱中症が心配な季節を迎えます。感染症予防のためにも、早寝や朝ごはん、手洗いなどにご家庭でも気を付けていただき、元気に過ごせるように心がけましょう。体調の変化に気づかれたときは、早めの受診をお願いいたします。